

TSUNAGU

我孫子市小中一貫教育だより 特別号

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室
TEL 04-7185-1367 FAX 04-7182-5867

平成29年1月16日

小中一貫!
推進中!



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市の小中一貫教育推進中!

我孫子市の開催する研修会



▲小中一貫教育研修会

中学校区別 小中学校合同研修会



▲湖北中学校区

▲布佐中学校区



▲久寺家中学校区



▲我孫子中学校区と白山中学校区



▲湖北台中学校区

市では、小中学校の教職員が協力し、一つのチームとして指導力を向上させ、日々の教育活動にあたっています。現在、市が開催する研修会以外にも、中学校区を単位として、小中学校の教職員が合同研修会を開催する等、小中学校教職員の交流や連携が密に行われています。

2 小中学校教職員の交流や連携で繋がります!



▲道徳



▲ふるさと



▲ICT



▲English



▲キャリア

※Abi☆小中一貫カリキュラムは、小中学校の9年間を一貫した系統的なカリキュラムです。

1 カリキュラムで繋がります!

Abi☆小中一貫カリキュラムで中学校を繋がります!
どの小中学校に入学しても、同じカリキュラムで学習をし、同じ目的を持って子ども達は成長していくこととなります。

4 地域と連携して繋がります!



▲夏休み宿題お助け隊



▲中学校区合同引き渡し訓練



▲小中高連携活動(布佐マイラフ)



▲小学校保護者の中学校参観

市では、小中学校と地域を繋ぐことも重視しています。地域の中の学校として、学校と地域が一体となり、中学校区の子ども達を育てていくよう連携が図られています。

小中一貫の日



▲湖北台中学校区:中学校で小学生が一緒に授業



▲布佐中学校区:中学校の教員が小学生に授業



▲白山中学校区:部活動見学



▲湖北中学校区:部活動見学



▲久寺家中学校区:中学校で小学生が授業を受ける



▲我孫子中学校区:中学生が小学生に中学校生活を説明

※写真は平成27年度の様子です。
※平成28年度は、1月30日(月)に実施予定です。

3 中学校区ごとの特色ある児童・生徒の交流で繋がります!

市では、平成27年度より「我孫子市小中一貫の日」を年一回設定し、市内全小中学校が、小中学生の交流活動を実施しています。中学校区ごとに、地域の特色ある小中交流の活動を実施することによって、滑らかに小中学校を繋いでいきます。

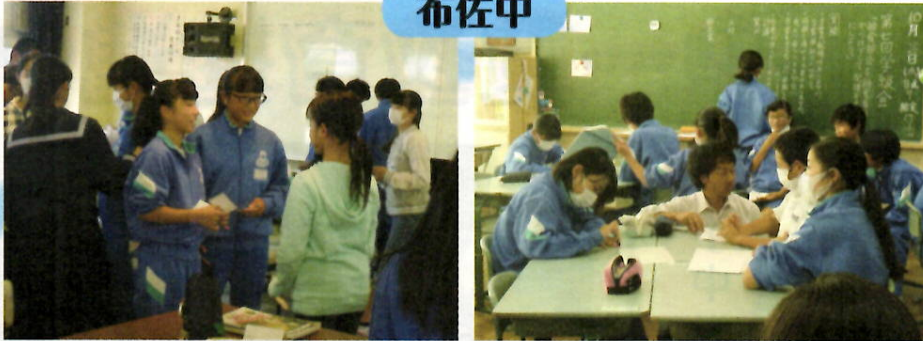


小中一貫教育推進地区の布佐中学校区で 小中一貫教育に関する公開研究発表会を実施!

布佐中学校区の小中学校で様々な教科・領域等の授業を行い、市内の小中学校の教職員が参観しました!

10月26日に、布佐中学校区の小中学校で、小中一貫教育に関する公開研究発表会を実施しました。
布佐中学校区では、小中一貫教育推進地区として指定を受けた平成26年度から、これまで市内小中学校に先駆けて小中一貫教育を推進してきました。
今回は、その成果を、市内の小中学校に向けて発表しました。
距離の離れた3校で、「活動と協同」を中心のテーマに据えて、学び合いの学習を行いました。

布佐中



◀学級活動(中1)

▶小中学生合同の英語(中2と小6)

布佐小



▲道徳(小5)

布佐南小



▲英語活動(小5)

「活動と協同」 で小中学校を繋ぐ!



▲社会科(小4)



▲生活科(小2)

※小学校の「生活科(キャリア教育)」「道徳」「英語活動」「総合的な学習の時間(ICT教育)」はAbi☆小中一貫カリキュラムを活用した授業を実施しました。

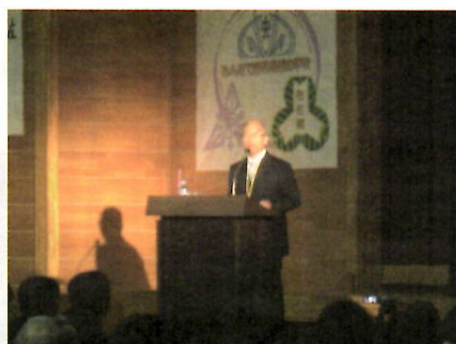
歴史とともに歩むまち「布佐」の特色ある取り組みが紹介されました!



▲各校の推進に関わった教員の話(教務主任や研究主任)



▲司会進行(布佐南小教務主任と布佐中学生会長)



▲三校校長代表挨拶(布佐南小校長)

布佐中学校で、布佐中学校区の小中一貫教育に関する取り組みを発表しました!

布佐中学校、布佐小学校、布佐南小学校で、それぞれの授業展開を参観した後、小中学校教職員は、布佐中学校に約600名が集まりました。
布佐中学校では、布佐中学校区の教職員がこれまでに積み重ねてきた実践報告を中心とした、発表会を実施しました。
これから、平成31年度の小中一貫教育全市展開に向けて、他の小中学校でも推進を更に続けていきます。

今後、布佐の取り組みを、他の中学校区でも生かして小中一貫教育を推進します!

参観者の感想を紹介します!

○布佐中学校区ならではの取り組みは、地域との密な連携であり、その様子が見られてとても参考となりました。地域と小中学生が一体となって踊る「だしお音頭」に感動しました。

○公開研究会で、実際に子ども達の様子を見ることができました。布佐中学校区の子どもの生き生きとした様子が、小中一貫教育の成果を表しているように思いました。

○小学6年生が、中学校に登校して授業を受けることは、小学生の中学校生活への不安を取り除く効果だけではなく、中学生にとってもよい刺激となっているように思いました。

○学習や生活のルール等を、小中学校の教員が話し合い、共通理解を図って指導することは、中学校への滑らかな接続だけではなく、学力の向上にも繋がると思いました。

○小中学校を一貫させるために、互いの学校のことをまずは知り、小学校で学んだことが中学校でも生きる授業を心掛けたと思います。

○布佐中学校区は、地域との密な連携で、小中一貫教育を成功させたように思います。他の中学校区では、同じように取り組むのは難しいので、それぞれの地区の実態に合った小中一貫教育を実施する必要があると思います。